

1 施設名等

施設名 (設置年月日)	えひめこどもの城 (平成10年10月24日)	所在地 電話 H P	愛媛県松山市西野町乙108番地1 089-963-3300 http://www.i-kodomo.jp/			
県所管課	保健福祉部生きがい推進局子育て支援課	指定管理者の名称	伊予鉄総合企画株式会社			
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利用料金制	○	あり		なし

設置目的	子どもたちが豊かな自然環境の中で、仲間同士や家族等とのふれあいを通じて、遊び体験をはじめ、自然体験、社会・文化体験等さまざまな体験活動を行うことにより、創造性や自主性、社会性、豊かな感性等を育むことができるとともに、県下の児童館等児童関連施設のセンター機能や指導者の養成等を行う研究・養成機能を持つ総合的な拠点施設として設置	施設の外観
施設内容	・体験施設(31.2ha) ① こどものまちゾーン 大型児童館1階:こどもタワー等、2階:多目的ホール等、3階:ワークショップ等、屋上:探索園 ② アクティビティゾーン-NEXT- ふわふわドーム、芝生広場、じゃぶじゃぶ水路、くわがたのステージ、ジップライン、レストラン「アイ・リヴァージュ」、ボートのりば、コシロードベンチャー等 ③ 創造の丘ゾーン 創作工房、ハーブ園、花の丘等 ④ アクティビティゾーン 冒険ステーション、四輪バギー、てっぺんとりで、ボブスレー、てんとう虫のモノレール等 ⑤ ふれあいの森ゾーン 森のとりで、ふれあいの池、愛媛県体験型環境学習センター等 ・その他(駐車場:松山側駐車場(乗用車395台)、砥部側駐車場(乗用車105台))	
指定管理者が行う業務	1 事業の実施に関する業務 ① 体験機会提供業務 ② 遊具運行管理業務 ③ 活動支援業務 ④ 研究養成業務 ⑤ その他の業務 2 施設等の利用に関する業務 ① 施設等利用許可業務 ② 利用促進業務 3 施設等の維持管理に関する業務 ① 施設保守管理業務 ② 保守点検業務 ③ 建築物環境衛生管理業務 ④ 備品管理業務 ⑤ 植栽管理業務 ⑥ 清掃業務 ⑦ 保安警備業務 ⑧ 駐車場管理業務 ⑨ その他の業務 4 管理運営業務 ① 事業計画書等の作成 ② 事業報告書の作成 ③ 事業評価業務 ④ 関係機関との連絡調整 ⑤ 指定期間終了後の引継業務 5 その他こどもの城の管理運営に必要な業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

(1)利用者数

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年 間 利 用 者 数	201,290 人	310,330 人	386,270 人	420,630 人	354,100 人

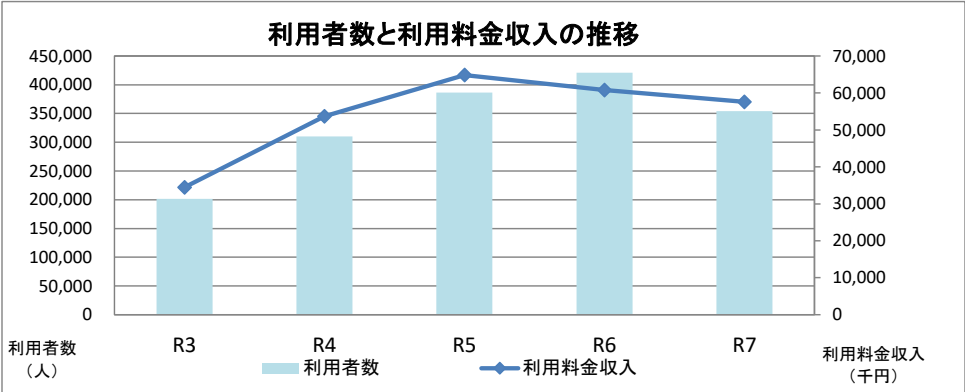
(2)収支状況

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入 (A)	412,433 千円	332,708 千円	371,626 千円	360,292 千円	419,870 千円
委 託 料	306,534 千円	223,309 千円	253,191 千円	254,293 千円	318,387 千円
委 託 料 (補 正 額) ※	29,018 千円	12,110 千円	0 千円	0 千円	0 千円
利 用 料 金 収 入	34,467 千円	53,678 千円	64,826 千円	60,781 千円	57,622 千円
そ の 他 収 入	42,414 千円	43,611 千円	53,609 千円	45,218 千円	43,861 千円
支 出 (B)	412,433 千円	332,708 千円	364,907 千円	359,697 千円	419,609 千円
事 業 費	28,204 千円	34,757 千円	34,584 千円	32,633 千円	30,043 千円
維 持 管 理 費	182,735 千円	108,992 千円	109,239 千円	109,538 千円	170,926 千円
人 件 費	148,202 千円	131,430 千円	159,332 千円	160,551 千円	161,219 千円
そ の 他 支 出	53,292 千円	57,529 千円	61,752 千円	56,975 千円	57,421 千円
収 (A) - 支 (B)	0 千円	0 千円	6,719 千円	595 千円	261 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載

(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

県工事(ステージ観客席に屋根設置工事)のため大型イベントが実施不可となったことにより、来園者が減少し、有料遊具や駐車場等の収入減につながったもの。



4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
		評	価
○前年度実績420,630人に対し今年度実績354,100人と、前年度比66,530人減と前年を大幅に下回る結果となった。夏季は前年度に酷暑のため苦戦したこと、少しでも涼しい時間に来園いただく、夏休み期間中の開園時間を11時から20時に変更して対応したが、日中は暑く外に出にくく、18時以降は小さなお子様連れのお客様は帰る傾向にあり、大きな結果を残すことができなかった。とはいえ「ふわふわドーム」に屋根が付いたことは好影響で、来園者からも感謝の言葉を頂くことができた。 ○冬季夜間イベント「フェスタ・ルーチェinえひめこどもの城」を今年度も開催し、昨年の賑やかさを期待したが、メイン会場の芝生広場が工事のため半分ほどの面積であったことや、2年目ということもあり、初年度よりも大きく参加者が減少する結果となった。 ○ジップラインの利用者は8,368人となった。SNS発信や県外広報に努め、長期休暇中に県外利用者が多く利用するなど、利用者増に向けて良い傾向となっている。また学校団体での利用も増えてきている。夏季の酷暑を考えると前年からの減少率はゆるやかで効果が出てきていると考えられる。 ○コンシロ・カートも有効活用し利用促進に努める。コンシロードベンチャーの利用者は、37,372人と昨年と比較すると減少している。飽きがこないようチャレンジイベントなども実施しているので少しずつ集客できたらと考えている。 ○今後もジップライン及びコンシロードベンチャーを活用しながら幅広い年齢層、県外からの利用者を取り込めているので、引き続き利用者増につながるように運営を行っていく。 ○また、3/20に「くわがたのステージ」に屋根がついて全天候型となり、ロードトレインに変わり「ぐるっと周遊カート」が登場した。今後は積極的に雨天時でも実施できるイベントを検討してきたと考えている。周遊カートにつきましても、園内周遊のかなめとして、しっかりと1日乗り放題チケットイベントなどPRしていきたい。 ○デジタル化・非接触に変遷している中、五感全てで感じられる「体験」を多くの方々に提供できる様、持続可能な運営に向けて、施設職員が来園者本位のサービスに注力し、多くの笑顔を咲かせられるように取り組む。		前年度から引き続き酷暑が見込まれたことから、来園者の声を受けて夏季開園時間を試験的にずらす取り組みについては一定の評価ができる。今回の結果を踏まえて、より来園者の利用が見込まれる夏季開園時間を検討されたい。県が施工したくわがたのステージ観覧席の屋根設置工事により、ステージイベントの開催が困難となり、来園者の伸び悩みに繋がった点は一定程度認められる。また、芝生広場も半分程度しか活用できなかったことから、自主事業の「フェスタ・ルーチェinえひめこどもの城」来園者の減少に繋がった部分も認められる。年次報告書によると、酷暑でもジップラインの利用者は前年度から横ばい状態であり、SNS発信や県外広報に一定の効果が見られているものと思われる。また、昨年度に引き続き、遊具が無料となる「家族の日」の設定や、各種無料券・夏休みイベントガイドブックの発行などの利用促進を行うとともに、企業・他施設等とのタイアップ事業や創意工夫をこらした夏季の夜間イベントなど、積極的な取組みを行っている。 さらに、業務効率化等を主とするICT化やアプリの活用など、来園者の利便性向上が図られている。 引き続き利用者増加のため、積極的な事業展開を図っていただくとともに、利用者のさらなる利便性向上にも努めていただきたい。	

A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
		評	価
○ボブスレーについて 一部コースの修繕はしたものの、全体にザラツキやひび割れが目立っておりプレーキシュアや滑り材の消耗が著しい状況が続いている。コース保護の為、プレーキシュア交換頻度を上げざるを得ず消耗品費用が大幅に増加している。県内企業にてプレーキシュアに加え、滑り材も製造を開始し経費削減に努めている。 ○ITV、放送設備修繕について 多くのITV設備を更新していただいたが、まだまだ故障している設備が多く、稼働している設備も耐用年数を大幅に超えており、愛媛県と協議させていただき全面的な修繕をしていきたい。 ○園路について 園路については、地盤の沈下等による凹凸が著しくロードトレイン、コンシロちゃんバスが走行する際に大きく跳ね上がってしまう場合があり運行に支障がでる恐れがあったが、電動カート導入に係る路面整備で安全性が増加した。 ○照明設備について あいあい児童館の事務所ににて館内照明を制御する設備が故障したが、当面はスタッフで直接ブレーカーから操作し乗り切り、修繕を終えることができた。		開園から年月が経過し、施設の老朽化が進む中、状況に応じた修繕等を実施するとともに、日々の点検も適切に行っており、利用者が安心・安全に遊ぶことのできる場所の提供に努めている。今度も引き続き施設の適正な維持管理に取り組んでいただきたい。	

A

(3)利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

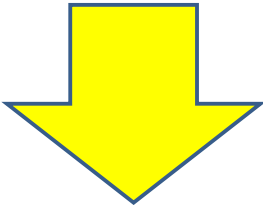
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
		評	価
○利用者アンケート箱を園内5箇所に設置したりホームページでの要望の受付等、複数の手段により、利用者の意見の収集を行った。 (利用者からの評価) ・スライム作りや、皮でポーチ作り。夕涼み会、夏祭り、なぞなぞをやってほしい。 →スライム作り、皮でポーチ作りはワークショップで実施、夕涼み会では盆踊りなどを実施、なぞなぞやクイズなどを取り入れたラリーを計画。 ・レストランは、全体を通して味付けが濃い。 ・レストランのご飯がおいしい。 →好みがさまざまあるので、子供向けのメニューを中心に薄味にできるか検討中。 ・施設の手入れができてない。立ち入り禁止や故障中が多く残念です。 →老朽化し使用不可のものはなるべく撤去して、寂れ感を出さないようにしている。 ・ボブスレーへの入場が分かりにくい。 →案内表示や総合案内・各遊具乗り場のスタッフの説明を分かりやすくできるよう進めている。		複数の手段により、利用者の意見を収集しようとする取り組みとともに、専門的知識を有する委員との意見交換も実施されている。引き続き利用者等に真摯に対応し、えひめこどもの城の魅力向上に努めていただきたい。 A	

(4)施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
		評	価
○夏季や冬季など学校長期休暇にあわせ、こどもの城を含む県内のイベント情報をまとめたイベントガイドを発行し、県内の幼稚園・保育園・小中学校への配布を定期的に行っている。 ○とべもりジップラインやコシロアドベンチャーをテーマとした県外地域への情報発信の他、各所のデジタルサイネージ、ビジョン広告にて、施設のイベント案内等を掲載、また、Instagramを中心としたSNS広報にも注力しており、臨場感ある分かりやすい告知動画の投稿、更新回数を増やし、利用者・知名度アップに努めている。また他の指定管理施設や伊予鉄グループでのSNS相互活用も図っていく。		イベントガイドの配布やSNSでの広報など、様々な広告媒体を使用しながらえひめこどもの城の活動情報を発信しており、幅広い層の利用者促進に努めている。 また、自社の強みを活かした広告も行っており、引き続き施設の周知に努めていただきたい。 A	

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5)指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括	
平成18年度の指定管理者制度への移行以来、マスコットキャラクターなどによるPR、無料パスのキャンペーン、開園時間の延長、夜間イベントの実施など従来にない取組みが好評を博し、制度導入直前の来園者数の落ち込みが改善されており、指定管理者制度導入の目的に合致した、一定の成果が上がっている。 えひめこどもの城が、これから先も多くの幅広い年齢層の方々に親しまれる施設であり続けるために、施設及び遊具の点検や補修に必要な経費を確保するとともに、利用者のニーズに応じた効果的かつ柔軟な企画・運営について検証していきたい。	